

事前評価個表

| | | | |
|--------------------|--|--------|------------------------|
| 事業名 | 森林環境保全整備事業（国有林） | 事業実施期間 | 令和 8 年度～令和 12 年度（5 年間） |
| 事業実施地区名 （都道府県名） | （たかはしがわじょうりゅう） 高梁川上流森林計画区 （広島県） | 事業実施主体 | 近畿中国森林管理局 広島北部森林管理署 |
| 事業の概要・目的 | <p>本事業は、広島県^{じんせきこうげん}神石高原町の 1 町に所在する 4 千 ha の国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は、広島県の東部に位置しており、東は岡山県、南から西にかけては瀬戸内^{せとない}森林計画区、西から北にかけては江の川^{ごう}上流^{かわじょうりゅう}森林計画区に接している。計画区内の各所に団地が散在している。</p> <p>本計画区内の森林面積 30 千 ha に占める国有林野の割合は 12% と低いものの、国有林野面積の 98% が水源かん養保安林に指定されており、重要な水源^{かん}涵養機能の一端を担っている。</p> <p>また、本計画区の国有林には、希少な野生生物の生育・生息に必要な森林を保護・管理する「希少^{やまのきょう}個体群保護林」を 1 箇所設定している。また、自然公園法（昭和 32 年法律第 161 号）に基づき「山野^{やまのきょう}峡県立自然公園」等に指定され、自然環境教育や保健休養や森林を利用したレクリエーションの場として多くの人々に利用される観光資源となっている。このほか、国有林野の一部を採草地として貸付けすることを通じて、地元神石高原町の主要産業の一つである畜産業の振興にも寄与している。</p> <p>本計画区内の国有林は、人工林率が 60% と県内の民有林の人工林率 31% に対して高い水準にあるとともに、森林蓄積の約 9 割が 10 齢級以上と森林資源として成熟した林分となっており、充実した森林資源を活用すると同時に計画的に再造林が必要な段階にある。</p> <p>このため、本事業は、森林の有する公益的機能の持続的な発揮と併せて木材の安定供給及び地域の活性化に貢献するため、植栽や保育等の森林整備及び自然環境に配慮した路網整備を実施する。</p> <p>なお、事業実施に当たっては、これら人工林について、主伐箇所では積極的にコンテナ苗を採用した伐採と造林の一貫作業システムを推進するとともに、路網整備において、現地に適した工種を検討する等作業効率の向上とコスト縮減を図る。また、地球温暖化防止をはじめとした水源涵養機能や土砂流出防止機能等の森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、間伐等の保育作業を実施し、効率的な森林整備を実施するとともに間伐材等の利用促進に取り組んでいくこととする。</p> | | |

| | |
|-----------------------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> 森林整備 更新面積 191ha <li style="padding-left: 40px;">保育面積 1,358ha 路網整備 開設延長 0.75km <li style="padding-left: 40px;">改良延長 1.05km ・ 総事業費 1,865,344 千円（税抜き 1,695,767 千円） |
| 費用便益分析 | <p>総便益（B） 5,049,841 千円</p> <p>総費用（C） 2,222,208 千円</p> <p>分析結果（B／C） 2.27</p> |
| 森林管理局事業評価 技術検討会の意見 | <p>定量的な費用便益分析の結果及び定性的な評価結果を総合的に検討した結果、事業の実施は妥当である。</p> |
| 評価結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止対策や土砂流出防止、水源涵養、保健休養等の公益的機能の発揮等が求められている地域であり、本事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 路網整備においては現地の地形や地質に適した工種を検討して実施し、森林整備においても伐採と造林の一貫作業システムなど、現地に応じた更新・保育作業を効率的に行うことによりコストの増加を抑えていくこととしており、費用便益分析の結果からも、本事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 森林資源の現況、路網の整備状況及び森林災害の発生状況を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する公益的機能の発揮が十分図られることから、本事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p> |

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：広島県

施行箇所：高梁川上流森林計画区(広島北部森林管理署)

(単位：千円)

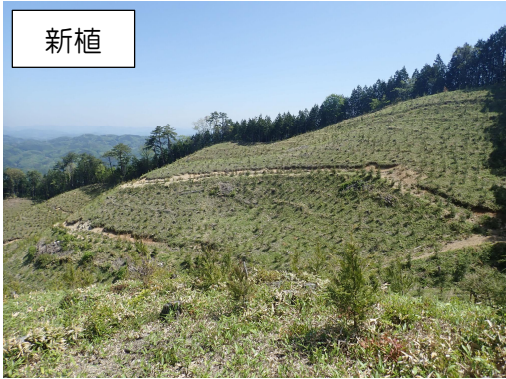
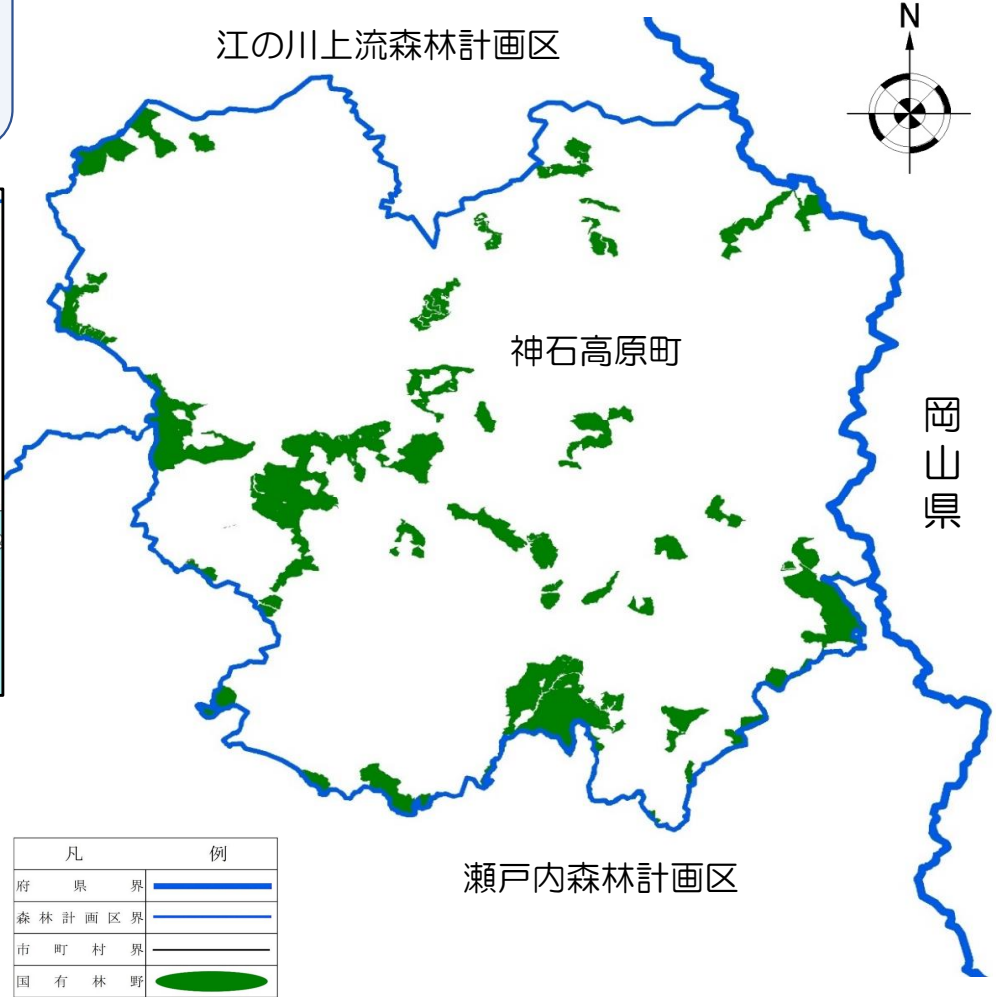
| 大 区 分 | 中 区 分 | 評価額 | 備 考 |
|-------------|---|-----------|-----|
| 水源涵養便益 | 洪水防止便益 | 1,012,383 | |
| | 流域貯水便益 | 239,225 | |
| | 水質浄化便益 | 1,073,189 | |
| 山地保全便益 | 土砂流出防止便益 | 1,207,476 | |
| 環境保全便益 | 炭素固定便益 | 252,513 | |
| 木材生産等便益 | 木材生産確保・増進便益 | 512,814 | |
| 森林整備経費縮減等便益 | 森林整備促進便益 | 752,241 | |
| 総 便 益 (B) | | 5,049,841 | |
| 総 費 用 (C) | | 2,222,208 | |
| 費用便益比 | $B \div C = \frac{5,049,841}{2,222,208} = 2.27$ | | |

参考

| | | | |
|-------------------|---|--|--|
| 費用便益比 (i=0.02) | $B \div C = \frac{7,598,138}{2,668,642} = 2.85$ | | |
| 費用便益比 (i=0.01) | $B \div C = \frac{9,594,848}{2,989,000} = 3.21$ | | |

森林環境保全整備事業 高梁川上流森林計画区 事業概要図

【主な事業内容】 森林整備 更新面積 191 ha
 保育面積 1,358 ha
 路網整備 開設延長 0.75 km
 改良延長 1.05 km



| 凡 | 例 |
|---------|---|
| 府 県 界 | |
| 森林計画区界 | |
| 市 町 村 界 | |
| 国 有 林 野 | |

